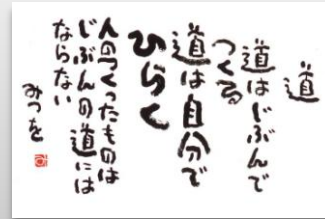


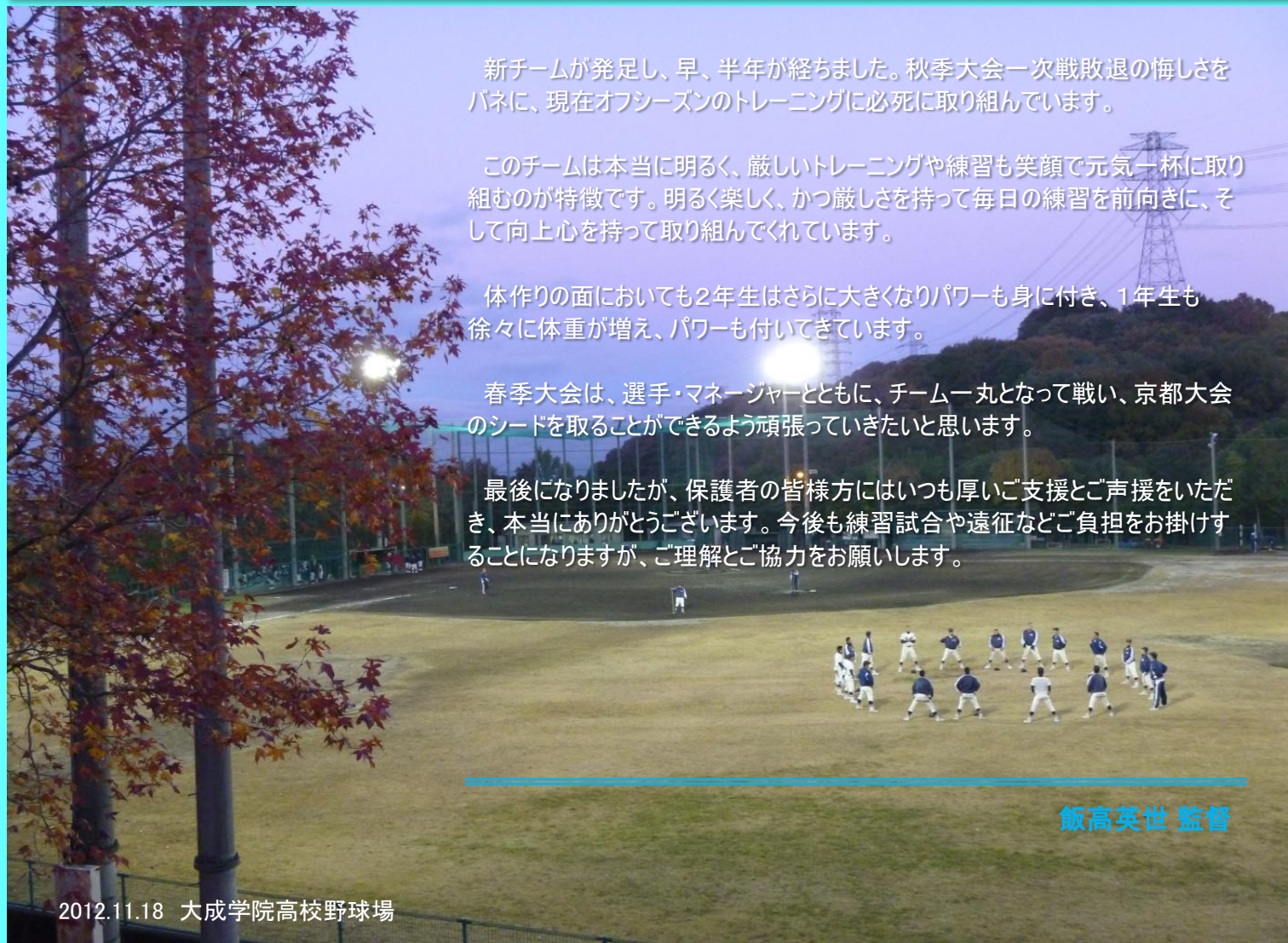
峰山高校野球部通信



No.3

2013.2.28

発行//京都府立峰山高等学校野球部保護者会



新チームが発足し、早、半年が経ちました。秋季大会一次戦敗退の悔しさをバネに、現在オフシーズンのトレーニングに必死に取り組んでいます。

このチームは本当に明るく、厳しいトレーニングや練習も笑顔で元気一杯に取り組むのが特徴です。明るく楽しく、かつ厳しさを持って毎日の練習を前向きに、そして向上心を持って取り組んでくれています。

体作りの面においても2年生はさらに大きくなりパワーも身に付き、1年生も徐々に体重が増え、パワーも付いてきます。

春季大会は、選手・マネージャーとともに、チーム一丸となって戦い、京都大会のシードを取ることができるよう頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、保護者の皆様方にはいつも厚いご支援とご声援をいただき、本当にありがとうございます。今後も練習試合や遠征などご負担をお掛けすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

飯高英世 監督

2012.11.18 大成学院高校野球場

訂正とおわび

通信No. 2の夏季大会の内容に誤りがありました
初戦の海洋戦(H24.8.25)1回裏の攻撃
3番前田透要くんのソロアーチ
この一発から秋季大会は、はじまりました

前田透要くんをはじめ、関係する皆さまに
不快な思いをさせましたこと、おわびいたします
(保護者会広報係)

前田透要 海洋戦1回裏ソロ



海	洋	0	0	0	0	0				0
峰	山	6	2	0	8	1				17

前田ソロ



相見 貴明

与謝野町
内野手

昨シーズンは、なかなかいい結果を残すことができませんでした。チャンスで打てなかったり、守備でも捕れる球を逃したり、走塁も次の塁に行けるのに…と、消極的なプレーばかりしていたので、しっかり練習して積極的なプレーができるようにしていきたい。

2013年は、自分にとって最後の高校野球なので、残り数か月間の練習や試合を頑張っていきたいです。この二年半練習した成果を十分発揮できるようにしたいです。試合に出て打てるようにしたい。このオフの期間にスイングスピードや足が少しでも速くできるようにしたいです。悔いを残さないようにしたいです。



梅田 一馬

峰山町
内野手

自分は夏が初ベンチでした。それまで自分なりに努力をしていますが背番号がもらえずとても悔しかったです。しかし、先輩さんが支えてくださり、くさることなく夏までいけました。先輩さんには本当に感謝しかありません。

夏季大会終了後から今まで早く感じました。秋季大会では思うような結果は残せず、コールドで終われる試合も長引かせてしまい申し訳なかったです。敗者復活の決勝戦ではチャンスでの1本が打てず、二次戦にも行けずとても悔しかったです。なのでこの冬で、自分の苦手なところを克服し、そして伸ばしていきます。

春までにすべての面において成長し、今までとは違う自分で夏を迎えたいと思います。また、目標である甲子園出場を果たしたいです。



蛭子 朋也

網野町
内野手

自分は、昨年夏と秋どちらも全く活躍できず、チームに迷惑をかけたと思います。自分がもう少し良いプレーができていたら勝った試合もあったと思います。だから夏までに力をつけてチームに貢献できるように頑張ります。



中島 隆雄

峰山町
投手

今シーズンは自分の中ではあっという間に過ぎてしまい、とても短く感じました。

夏季大会では入部してからずっとお世話になってきた先輩方に何か返せるようなプレーができず、自分の弱さ、不甲斐無さを痛感しました。秋季大会でもチームに迷惑をかけ続け、悔しい思いをしました。肘の怪我也あり、長い間好きな野球を満足できず、歯痒い思いもしました。この思いを2013年シーズンに活かしていけるかどうかは、これからの自分の行動次第だと思います。残り少ない日々の一分一秒を無駄にすることなく、一生懸命努力します。“継続は力なり”という言葉にもあるように小さくて地味なことでも毎日継続していくことが大切だと思います。自分は副主将としてチームのことを考えて行動し、細見の力になれるよう努力します。

そしてどんな苦しいことにもチームで一丸となって立ち向かい、自分達の目標“甲子園”目指して頑張ります。

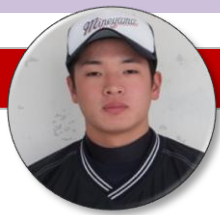


岡野 彰太

与謝野町
捕手

去年の自分は、打撃面も守備面もまだまだレベルが低く、チームに多くの迷惑をかけてしまった。

自分は捕手なので、もっと投手や野手を引っ張っていかなければいけないので、自分のレベルを上げて、チームを引っ張っていける信頼される捕手になれるようにしっかり頑張っていきたい。



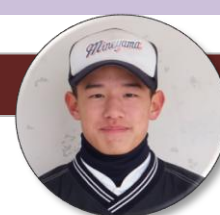
今田 拓実

峰山町
外野手

2012年は腰を痛めて練習もあまり参加できなかったし、秋季大会も敗者復活で勝ち上がったけど、府立工業に負けてしまった。でも、練習試合では2ケタ安打で勝った試合も多くて、日星にも勝った。

2013年は、高校生活で野球ができる最後の年なので、一日一日、自分が野球をできることに感謝して、「画竜点睛」をモットーに頑張りたい。

今年こそ初ホームランを打って、みんなで甲子園に行く!!



永岡 涼

峰山町
内野手

自分にとって昨シーズンは、とても悔いの残るシーズンになりました。

夏の大会に出してもらっても結果が残せず、秋の大会でも大事な場面でチャンスを広げることができませんでした。

自分はもう悔いは残したくないです。そしてみんなから頼りにされる選手になりたいです。そしてチームの軸となり、試合で活躍したいです。

そのためにも、練習での一球一球、一振り一振りに、もっともっと集中して、今まで以上に気持ちの入った練習をしたいと思います。



藤村 基樹

峰山町
外野手

2012年は、自分にとっても、チームにとっても悔しい一年でした。夏前にケガをしてしまい、チームの足を引っ張ることになり、自分には何ができるのだろうか?と思考したのが、早くケガを治して一日でも早く練習に戻ろう、ということでした。しかし、復帰した後も思うような動きができず苦しんだので、2013年は、まず第一にケガをせず、健康な身体を保つことを目標にしたいです。

そして、技術面はもちろん、足りない部分を補えるような精神面を磨き、もっと成長していきたいです。



前田 透要

久美浜町
内野手

今シーズンを振り返って、自分は秋季大会で2次戦に行けなかったことが一番印象に残っていてすごく悔しかったです。2013年は、最後の年になるので、後悔ないように日々の練習を頑張っていきたいです。



金谷 佳樹

与謝野町
外野手

夏にケガをしてしまって、チームにも、色々と迷惑をかけました。自分はその中でチームの大切さなどを学びました。秋から練習や試合に参加した中で、守備・走塁・打撃などたくさんの課題が見つかりました。今年も残り半年しかないけれど、その半年で、もっと上達してチーム全員に認められるようにがんばる。夏大では、全員で勝ってみんなと少しでも野球ができるようにがんばり、最後はみんなで笑って終わる。

昨シーズンを振り返って~そして、2013年にむけて~

2年生



志村 駿太

久美浜町
外野手

去年は多くの試合に出させてもらい、いろいろなことを経験勉強しました。だから今年は、去年の経験や反省点を生かし頑張っていきたいです。

個人的には、走攻守三拍子そろった強い選手を目指して頑張ります。

そして今年は高校野球最後の年となるので、必ず甲子園に行き、最高の夏にしたいです。



増田 裕樹

大宮町
外野手

昨年はとても短かったように思います。

この仲間と一緒に野球をするのが楽しく、どんなにきつい練習でも乗り越えることができました。良い結果を、なかなか残すことができず悩んでいた時期もありました。そんなとき、助けてくれるのはいつも仲間でした。

その仲間と甲子園に行きたい。そう思いながら日々の練習を頑張っています。思うような結果を出すことができなかった悔しさを忘れず、今年は高校野球最後の年なので、いろいろな方への感謝を忘れず、仲間と一緒に、悔いが残らない最高の一年にしたいです。

応援よろしくお願いします。



吉井 颯

大宮町
投手

昨年の秋や夏の翔英戦、自分にとってもチームにとっても忘れることがない試合でした。

自分の四死球からの崩れが原因で3年生の皆を早く引退に追い込んでしまい、今でもすごく反省しています。しかしそんな経験があったにも関わらず新チームに入ってから目標は、「球を早くすること」だけに頑張っていました。たしかに球だけでいうと夏に比べると少しずつ速くなったような気がするけど、問題の制球力は日によってバラバラだったり安定せず、上手く試合を作ることができませんでした。だから昨シーズン最後の試合でも自分の崩れから勝った試合も負けてしまいました。もう自分もあの時のようなつらい思いもしたくないし、自分のせいで負けたりするような試合もしたくありません。もう自分達には少しの年月しかありません。悪かった時の言い訳など通用しません。だから夏に向けて目標を持って頑張りたいし、今までこうやって野球をやらせてくれる親や関係者に対して感謝して取り組みます。また自分が峰高の野球部に来た理由が「甲子園出場」だったのでそれを果たせる様に初心の気持ちに戻って頑張ります。

140km/hが出せる様ストレートを磨き、コーナーにつけるような制球力をつけ、三振がほしい時に取れるそういう周りの人から信頼されるようなピッチャーになりたいです。



田中 大貴

久美浜町
内野手

今シーズンは、腰のケガから復帰して、キャッチャーからファーストにコンバートしました。思うように結果が出ず、プレー以外での課題も多く出ましたが、自分なりに考えて、チームのために貢献できたと思います。

全体としては、新チームが始動してからたくさん勝つことができました。ただ、秋季大会での敗退はとても悔しかったです。あと一本が出ない、防げるミスが多いなど、課題も出ましたが、思い切りのよいバッシングは今シーズンにつながるものだったと思います。

今、チームはしんどいオフシーズンに入りました。日々の練習が夏につながるものと信じて励んでいます。今シーズンは、必ずスタンドに放り込むスイングを身に付けたいと思います。チームとしては、秋の雪辱を晴らし、絶対に甲子園に行きたいです。

「悔いのない試合はできないが、悔いのない練習はできる。」一日一日、大切に頑張ります。



細見 吉彦

与謝野町
捕手

昨シーズンを振り返ると、悔しいことばかりでした。まず夏の大会、2回戦で翔英にコールドで敗れてしまいました。夏の大会が終わって自分は、キャプテンになりましたが、秋の大会でも日星や府立工業に敗れてしまいました。1次戦で終わってしまって本当に悔しくて今でも忘れません。2013年は、夏、秋の悔しさを忘れず、全員で一生懸命努力して最後の夏に結果を出し、甲子園にいけるように頑張りたいです。

しかしこうやって言うのは、誰でもできます。言うだけ言って何もしないという事があるとまず甲子園出場という目標は、達成できないと思います。なので口だけの人は、今すぐやめてもらいたい。でもこんな事がないように、キャプテンとしてもっと厳しく、楽しく、メリハリをつけてやっていきたいです。そして甲子園に行きます!



山本 昇平

峰山町
外野手

自分は夏休みの試合からずっと出させてもらっていたのにも関わらず、全く打てず、特にチャンスではいつも外のボール球に手を出し三振していました。正直秋季大会でも内心不安で体がちぢこまり自分のスイングができませんでした。

そしてチームも1次戦敗退という不甲斐無い成績で終わりました。もうこんな悔しい思いは自分にはしたくないので、これからは自分のスイング一振りに責任をもって春を迎えたいです。

そして夏には甲子園で校歌を全員で歌って人生を変